

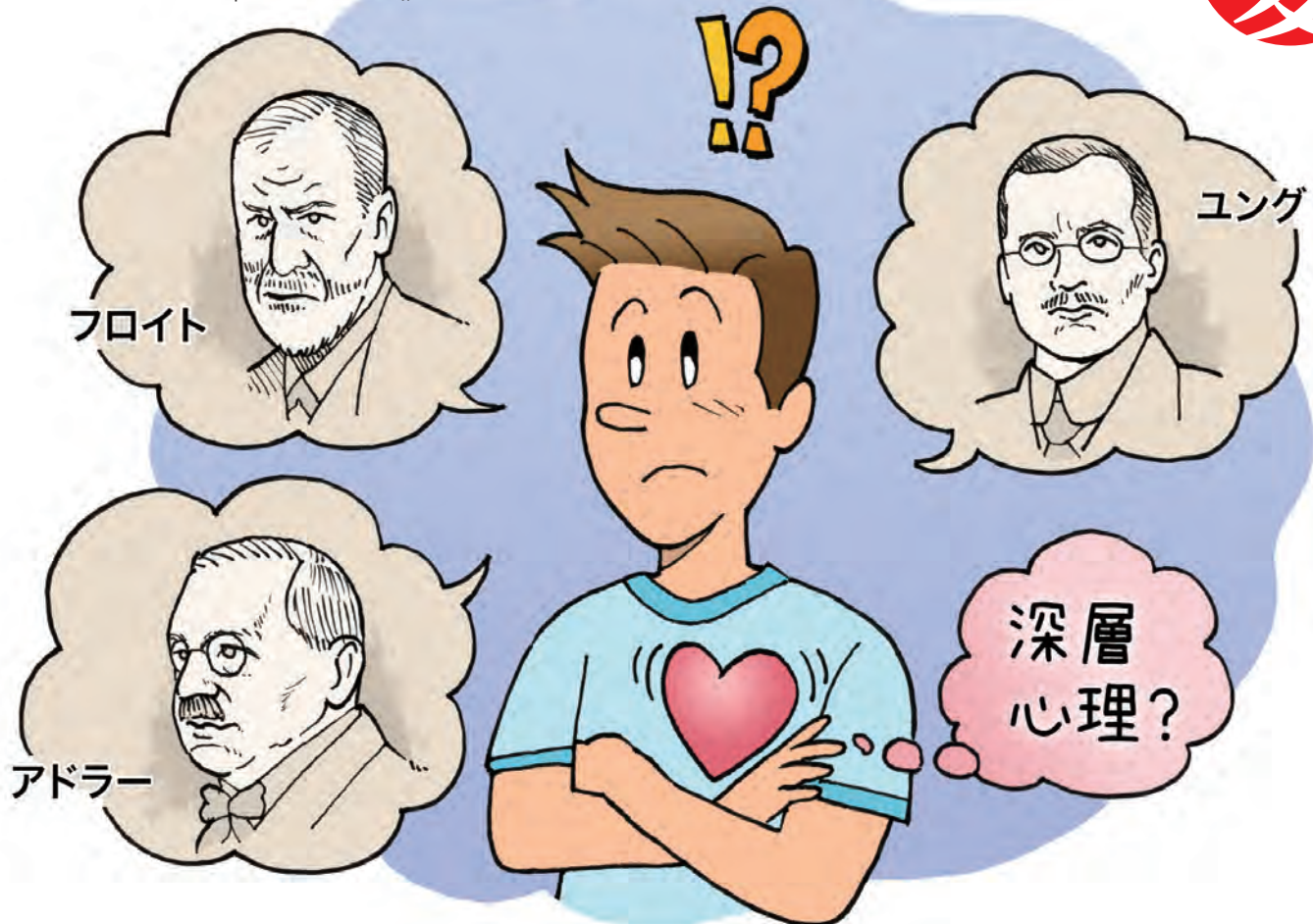
Face to Face

Tobita Dental Clinic

歯科一般/小児歯科/予防管理/口腔外科/インプラント/矯正歯科/審美歯科

11-19 Hirose, Kita-ku, Okayama-city, Okayama-prif 700-0806

Tel 086-222-3194 <http://www.tobitadc.jp/>



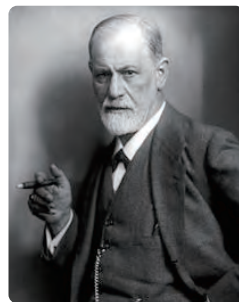
心理学 / Psychology

今年の新年号では仏教の心理学について書かせていただきましたが、今回は医師の考えた心理学について書かせていただきます。

約100年位前(1800年代中盤)に3人の精神分析医の心理学者が登場します。

心理学創始者といわれているのが1858年生まれのフロイトです。彼は神経症やヒステリーで生理的な原因を発見できないのに、足が動かない、耳が聞こえない、目が見えないなどの症状の原因を発見しました。つまり、本人がわからない、コントロールできない意識として深層心理という考えを発見し、この深層心理は過去の経験が影響すると考えました。

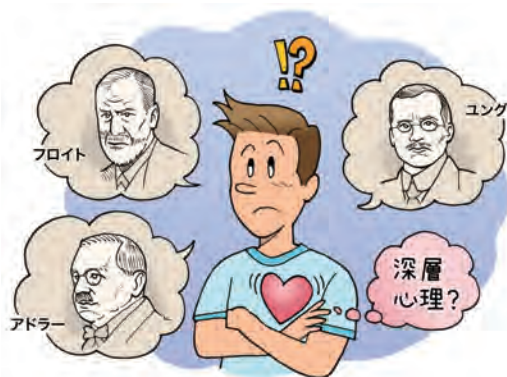
彼が幼少期に、父は2度目の結婚で若い美人の奥さ



ジークムント・フロイト
Sigmund Freud

んをもらい、この継母に彼は溺愛されました。そのことで彼は父親をライバル視するくらい継母への愛情を独占したくなり、異性の母親への愛着と、同姓の父親への愛憎の中で葛藤しつづけました。このことは彼が晩年まで週末に花束を持って母親に会いに行ったことからわかります。彼が考えた深層心理において「性」の部分がクローズアップされるのは、このような経験によることだと考えられています。

心理学



Psychology



アルフレッド・アドラー
Alfred Adler

2人目が1870年生まれのアドラーです。彼は虚弱児で軽度のクル病、声門の痙攣を持っていました。また、幼年期に弟が亡くなったこともあって、病気や死への恐怖を克服することが課題でした。そのため、彼の心理学は弱点を克服するため努力すれば平均より良くなると考え、問題をどのように克服しようとする心の問題をクローズアップしました。また、クル病の治療のために郊外に連れて行かれ近所の子供たちと仲良く遊ぶことができたことから「仲間とうまく協力関係になることが人生の課題」だとも考えました。このような経験が彼の心理学の基礎になったとも考えられます。



カール・グスタフ・ユング
Carl Gustav Jung

3人目は1875年生まれのユングです。彼はプロテスタントの牧師の息子として生まれ、3,4歳の時に、生涯心を奪われる怖い夢を見たために、内向的な性格になり、空想にふける友達もいない子供でした。この性格と心の中から幻想が湧いてくるために精神病寸前の状態になり社会的適応が難しかった

ようです。それらを克服したことが精神科医としての学説の基礎になったとも考えられています。そのためか3人の中で最も宗教的な考えが強いといわれています。

アドラー、ユング共にフロイトの考えを学びます。フロイトはウィーン精神分析学会を創設し、その後継者にアドラーやユングを推薦していますが2人とも考え方が違うと拒否しています。つまり、同世代の同じ精神科医で深層心理の研究者ですが三人三様の学説なのです。しかし3人には共通点があります。共に幼少の頃から自分の抱えた問題をどう解決していくかという自らの体験が学説のベースになっています。

3人の中でアドラーは日常のヒントとなる考えが最も多いと評価されており、そこでこのところ多くの書籍が出版されているようです。その内容の一部を紹介します。

人に協力をお願いする時、素直にお願いして感謝する人、恫喝する人、だまそうとする人、すねたりいじけたりする人、可愛い子の振りをする人、無理やり勝負事に持ち込もうとする人のパターンがあるそうです。これらは、生育時に周囲の人との関係によって形成され、生涯その人のパターンになると考えられています。ちなみにあなたの友人はどのタイプにあてはまりますか？

人と接した時に、非常識、変な奴、自分とは違くと、感じる場合があります。それは個々の経験から感じる場合がほとんどです。でも、それには必ず理由があると考え、それを理解、分析してみたいかでしょうか。そのような考えで人に接すれば、嫌な人でも少し興味を持つことができるのではないのでしょうか。



Tobita library

とびた図書館

ミニチュア、フィギア



アマゾンの書籍を見ていたときに、たまたま目に止まったのが「小人の住む町」です。興味を引かれて購入してみたところ、なかなか面白いのでこんどは「MINIATURE LIFE」を購入しました。表紙の2つの写真のように、人や物の小さなフィギアが街角や日常生活で使われている道具や食べ物と共に写されています。例えば映画「ミクロキッズ」の静止画のような感じで撮影された写真集です。風刺、思わず笑える、そのように使ったか～、など感心させられる発想で撮影された写真集です。待合室にありますのでぜひご覧ください。

ここまでだったら待合室に置く書籍の購入方法として従来と変わりはないのですが、知人のフェイスブックの写真の中のフィギアに興味を惹かれました。それは鳥獣戯画に描かれている動物たちをフィギアにしたものです。さっそく、知人に尋ねてネットで調べてみました。すると、2社から販売されており、1社は「コッ

プのふち子」シリーズの「キンタクラブ」から販売されています。当然ですが、コップのふち子と同様に引っ掛けるタイプです。もう一社のバンダイは台座付きで、クリップかけ、ペン立て、ヘアゴムかけなどです。共に「ガチャガチャ」で販売されていることがわかったのですが、わざわざ買いに行くのは大変だと思いますのでネットで探して通販で購入しました。医院のいろいろな所に置いて楽しんでいきますので、興味のある方は探してみてください。

余談ですが、ガチャガチャのフィギアシリーズに「おじさん図鑑」があるという情報を入手して、さっそく本は購入しました。これも待合に置いていただきますのでご覧ください。おじさんの特徴を解説した本で、おじさんの私も思わず納得してしまいました。ちなみに、このシリーズのフィギアがあると聞いたので探しましたが、残念ながら販売終了とのことでした。



おすすめの電動歯ブラシの1位が「ソニックア」に変更しました。



「ソニックア」の良さは以前からお伝えしていましたが、本体価格と換えブラシの価格が「メディクリン」と比較して高価だったのでおすすめの2位でした。ところが、「ソニックア」の価格が5,000円台と「メディクリン」と同等の価格になったので、より性能の高い「ソニックア」をおすすめの1位することにしました。但し、換えブラシは「メディクリン」より少し高価（通販で¥600～¥900）なのでその点はご了承ください。

「ソニックア」の特徴は本体の性能とブラシの形状の良さです。最近になって、安い機種が販売されましたが、安くても基本性能に変わりがないことを（ソニックアは付属機能と付属品で高価になるようです）確認できたので一押しにさせていただきました。但し、気をつける点があります。初めて電動歯ブラシを使われる数パーセントの方は振動に慣れない、もしくは強い振動だと気持ち悪いと感じられる方がおられます。この点は実際に使って頂かないとわかりません。安い機種には強さの調整機能が付いていないので、この点の確認が必要です。

その方法として飛田歯科医院では、デモ用（口の中に入れられません）の電動歯ブラシがありますので、その振動を触って確認してから購入を考えられることをおすすめします。もしくは家電量販店にもデモ機を置いてあるところもありますので触って確認してみてください。もし、不安に思われる方は価格が上がりますが少し上の機種で振動の調整機能（強、弱など）が付いている機種を購入されることをおすすめします。でも、最高機種は必要ありませんので購入を考えている方はぜひ一度ご相談ください。

ホームページリニューアルと共にブログを再開しました。

3月よりブログを再開しました。歯科関連の情報を基本に掲載しています。歯を長く使うための予防方法や予防グッズの選び方や使い方などを中心に、治療方法を選ばれる時の情報や、治療前、治療中、治療後に知っておいていただきたいこと、インビザライン矯正、インプラント、義歯、予防歯科、保険外診療、子供の予防などなど情報満載ですのでご興味がある方はご覧ください。

